

デジタル情報通信革命 愛称〈0101(ゼロイチゼロイチ)〉

運用報告書（全体版） 第20期

（決算日 2019年8月20日）
（作成対象期間 2018年8月21日～2019年8月20日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、わが国の株式に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／株式
信託期間	約25年間（1999年9月1日～2024年8月20日）
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	わが国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式
株式組入制限	無制限
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9：00～17：00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近5期の運用実績

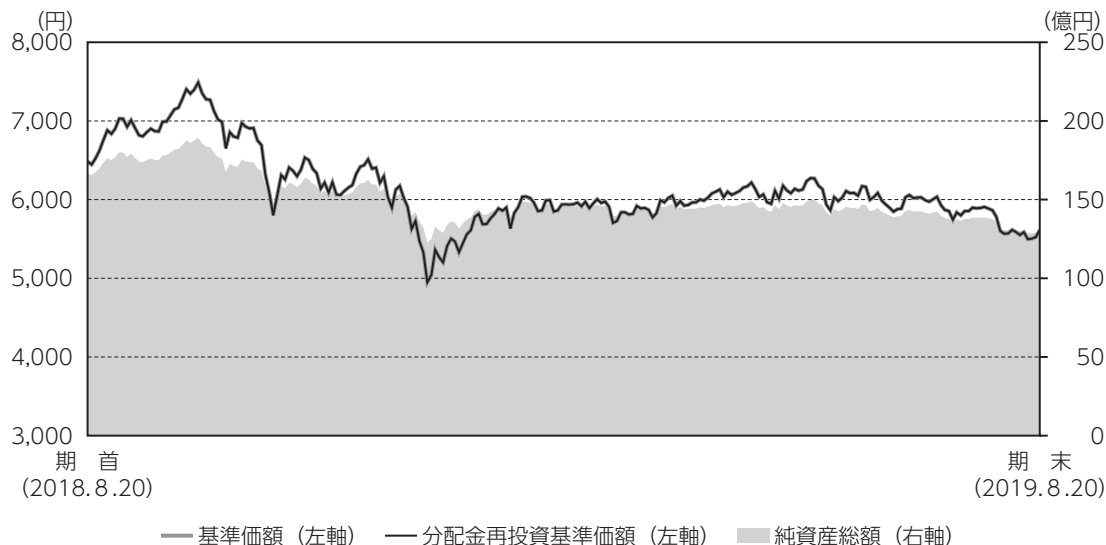
決 算 期	基 準 価 額			T O P I X		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
16期末(2015年8月20日)	円 6,123	円 0	% 22.3	1,623.88	% 26.9	% 96.6	% －	百万円 22,211
17期末(2016年8月22日)	5,059	0	△17.4	1,303.68	△19.7	93.5	－	16,880
18期末(2017年8月21日)	6,053	0	19.6	1,595.19	22.4	98.7	－	17,724
19期末(2018年8月20日)	6,485	0	7.1	1,692.15	6.1	97.4	－	16,657
20期末(2019年8月20日)	5,614	0	△13.4	1,506.77	△11.0	96.2	－	13,111

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注2) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
(注3) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期 首：6,485円

期 末：5,614円（分配金0円）

騰落率：△13.4%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

米国の保護主義的な政策への警戒感や、国内外の決算発表において一部の分野で事業環境の悪化が見られたことなどから、国内株式市況が下落したことを受けて、基準価額も下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

年 月 日	基 準 価 額		T O P I X		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
	騰 落 率		(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2018年 8 月20日	円	%		%	%	%
	6,485	－	1,692.15	－	97.4	－
8 月末	7,028	8.4	1,735.35	2.6	97.2	－
9 月末	7,398	14.1	1,817.25	7.4	98.6	－
10月末	6,312	△ 2.7	1,646.12	△ 2.7	95.5	－
11月末	6,437	△ 0.7	1,667.45	△ 1.5	94.8	－
12月末	5,266	△18.8	1,494.09	△11.7	98.0	－
2019年 1 月末	5,828	△10.1	1,567.49	△ 7.4	98.2	－
2 月末	5,891	△ 9.2	1,607.66	△ 5.0	98.5	－
3 月末	6,022	△ 7.1	1,591.64	△ 5.9	97.8	－
4 月末	6,168	△ 4.9	1,617.93	△ 4.4	97.7	－
5 月末	6,133	△ 5.4	1,512.28	△10.6	98.1	－
6 月末	5,887	△ 9.2	1,551.14	△ 8.3	96.7	－
7 月末	5,886	△ 9.2	1,565.14	△ 7.5	98.5	－
(期末) 2019年 8 月20日	5,614	△13.4	1,506.77	△11.0	96.2	－

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018.8.21～2019.8.20)

■国内株式市況

国内株式市況は下落しました。

国内株式市況は、当作成期首より、米国の保護主義的な政策への警戒感が強い一方、堅調な景気や企業業績が評価される局面があったこと、また通商問題でも一部で妥協点を探る動きなどがあったことから、横ばい圏で推移しました。2018年9月半ばからは、米中通商協議に関していったん悪材料は出尽くしたとの見方が広がったことや為替市場で円安が進行したことなどが評価され、株価は上昇しました。10月には、米国の長期金利が上昇したことに対する懸念や、国内外の決算発表において一部の分野で事業環境の悪化が見られたことが嫌気され、株価は下落しました。11月は、株価急落からの自律反発や米中首脳会談において米中通商協議に何らかの進展が見られるとの期待により株価が上昇したものの、12月に入ると、中国経済の減速懸念や利上げの停止に言及しなかったF R B（米国連邦準備制度理事会）議長の発言などが嫌気され、下落しました。しかし2019年1月には、F R B議長が一転して引き締め方向にある金融政策の軟化を示唆したことが好感されたほか、2月に開催された米中閣僚級協議などにより通商協議の進展期待が再び高まり、株価は反発しました。上昇一服後は一進一退で推移したものの、5月に入り米国が中国製品への関税率の引き上げや対象範囲の拡大方針を発表したこと、また中国の通信機器大手メーカーに対する取引制限措置を実施したことなどにより不透明感が高まり、株価は下落しました。下落一巡後は世界景気の動向などに不透明感があるものの、6月末に開催された米中首脳会談で一定の成果が見られたことや米国の利下げ期待が支えとなり、株価は横ばい圏で推移しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

世界的な貿易摩擦の激化や、米国の金利上昇が世界的に景気や金融市場に悪影響を及ぼす懸念などが、株価の上値を抑える可能性があると考えています。一方で、現状では内外の堅調な経済に対する見通しを引き下げるような状況にはないとみており、経済指標や企業業績の堅調さが継続すれば、株式市場は徐々に下値を切上げる展開に戻るものと想定しています。

銘柄選択にあたりましては、当ファンドの投資対象である、情報通信機器、情報関連サービス、情報ソフト、通信・放送等に関連する事業を営む企業およびこれらを利用することによって経営の効率化が図られると期待される企業の中から、市場に評価される企業を発掘、選別し投資を行います。また、中長期的な業績成長に重点をおき、テーマ性や株価位置などを勘案した銘柄選別を行う所存です。

個別銘柄では、中長期的な業績拡大が期待される銘柄、A I（人工知能）関連やサイバーセキュリティ関連などのテーマ性のある銘柄、マーケットの注目を浴びやすい新規上場銘柄の中で業績の拡大が期待できる銘柄などに投資する方針です。

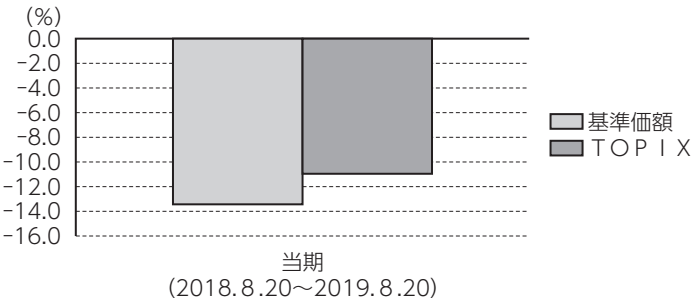
ポートフォリオについて

(2018.8.21～2019.8.20)

株式組入比率は、90%程度以上の高位を維持しました。
業種構成は、情報・通信業や電気機器などの比率を引き上げた一方、不動産業や証券、商品先物取引業などの比率を引き下げました。
個別銘柄では、業績見通しやバリュエーション指標などを考慮し、ファイバーゲートやスクウェア・エニックス・HDなどを新規に組み入れました。一方、KDDIやロードスターキャピタルなどを全部売却しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数（TOPIX）との騰落率の対比です。当ファンドは運用スキーム上、参考指数と比較して銀行業の組入比率が低いという特徴があります。参考指数は国内株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期は、基準価額の水準等を勘案して、収益分配を見送らせていただきました。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目		当 期
		2018年8月21日 ～2019年8月20日
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	374

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

世界的な景気や企業業績の減速懸念、各国通商政策の不透明感などから、国内株式市場を取り巻く投資環境は楽観を許さない状況にあると考えています。一方で、バリュエーション指標などから見て国内株式市場はこのような投資環境の不透明感を相応に織り込んでいると考えています。また、日本・米国・欧州における緩和的な金融政策や中国の景気対策の推進などが世界経済や金融市場の下支え要因になるとみており、国内株式市場は一進一退の展開を想定しています。国内外の経済指標や企業業績、各国の政策動向などを注視しながら、投資環境の方向性を見極めていく方針です。

銘柄選択にあたりましては、当ファンドの投資対象である、情報通信機器、情報関連サービス、情報ソフト、通信・放送等に関連する事業を営む企業およびこれらを利用することによって経営の効率化が図られると期待される企業の中から、市場に評価される企業を発掘、選別し投資を行います。また、中長期的な業績成長に重点をおき、テーマ性や株価位置などを勘案した銘柄選別を行う所存です。

個別銘柄では、バリュエーション面で割安感の出た銘柄、中長期的な業績拡大が期待される銘柄、DX（デジタルトランスフォーメーション）関連やクラウド関連などのテーマ性のある銘柄、マーケットの注目を浴びやすい新規上場銘柄の中で業績の拡大が期待できる銘柄などに投資してまいります。

1 万口当りの費用の明細

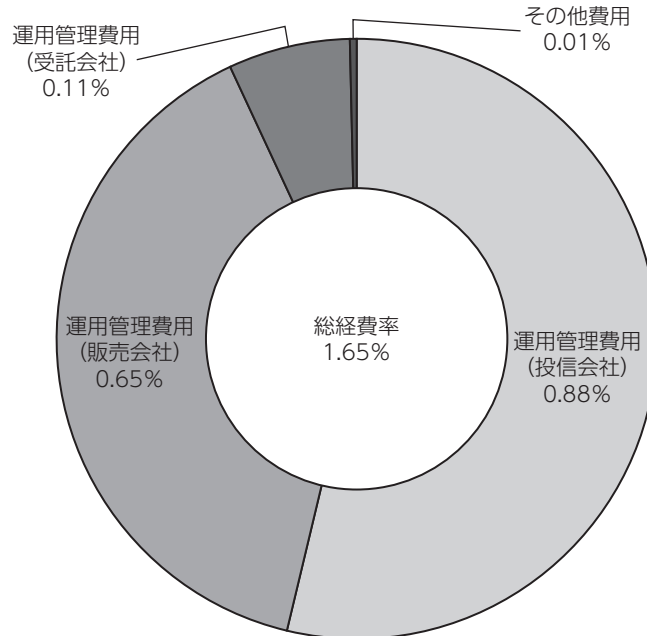
項 目	当期 (2018.8.21～2019.8.20)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	100円	1.639%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は6,132円です。
(投 信 会 社)	(54)	(0.884)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(40)	(0.647)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(7)	(0.108)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	21	0.344	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(21)	(0.344)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.006	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	122	1.988	

- (注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
- (注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
- (注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。
- (注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.65%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況
株 式

(2018年8月21日から2019年8月20日まで)

	買 付		売 付	
	株 数	金 額	株 数	金 額
	千株	千円	千株	千円
国内	9,558.1 (1,138.3)	19,894,489 (-)	12,514.6	21,535,567

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
株 式

(2018年8月21日から2019年8月20日まで)

当				期					
買		付		売		付			
銘	柄	株 数	金 額	平均単価	銘	柄	株 数	金 額	平均単価
		千株	千円	円			千株	千円	円
日本ユニシス		165	472,945	2,866	オロ		80.7	379,907	4,707
イーソル		75	404,123	5,388	UUUM		68	338,483	4,977
リックソフト		26.2	323,330	12,340	テリロジー		230	326,274	1,418
日鉄ソリューションズ		75	263,599	3,514	日本ユニシス		100.3	319,611	3,186
ラック		139.6	262,912	1,883	ネットワンシステムズ		130	302,800	2,329
シノプス		18.2	257,349	14,140	チームスピリット		133	289,101	2,173
スクウェア・エニックス・HD		65	253,628	3,901	オービック		30	280,573	9,352
ログリー		55.6	238,573	4,290	KDDI		100	274,572	2,745
メイコー		116.9	237,364	2,030	シェアリングテクノロジー		132	271,233	2,054
チェンジ		44	229,432	5,214	イーソル		115.2	253,951	2,204

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 期中の利害関係人との取引状況

(2018年8月21日から2019年8月20日まで)

決 算 期	当 期					
区 分	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
株式	19,894	8,034	40.4	21,535	7,044	32.7
コール・ローン	97,709	-	-	-	-	-

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合
(2018年8月21日から2019年8月20日まで)

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	41,430,057千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	14,806,525千円
(c) 売買高比率 (a)÷(b)	2.79

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。
(注2) 単位未満は切捨て。

(2) 利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となつて発行される有価証券

(2018年8月21日から2019年8月20日まで)

種 類	当 期
	買 付 額
株式	百万円 610

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 単位未満は切捨て。

(3) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への
支払比率

(2018年8月21日から2019年8月20日まで)

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	51,715千円
うち利害関係人への支払額 (B)	21,083千円
(B) / (A)	40.8%

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表
国内株式

銘 柄	期 首 株 数	当 期 株 数	期 末 評 価 額	銘 柄	期 首 株 数	当 期 株 数	期 末 評 価 額	銘 柄	期 首 株 数	当 期 株 数	期 末 評 価 額
	千株	千株	千円		千株	千株	千円		千株	千株	千円
建設業 (－)				シグマ光機	54.7	－	－	アイビーシー	56.2	－	－
中外炉工業	33	－	－	インターアクション	－	40.5	80,716	ネオジャパン	68.9	－	－
化学 (0.3%)				H O Y A	32	22	188,100	ラクス	110	110	351,450
大陽日酸	65	－	－	その他製品 (0.1%)				ダブルスタンダード	42	－	－
メック	－	19.8	23,859	ブシロード	－	3.4	8,452	アカツキ	－	18	128,520
有沢製作所	－	21.1	19,074	M T G	18.1	－	－	キャピタル・アセット・プラン	45.5	－	－
ガラス・土石製品 (－)				情報・通信業 (65.2%)				セグエグループ	13	－	－
日本特殊陶業	40	－	－	クロスキャット	26.8	－	－	うるる	9.9	－	－
機械 (2.8%)				システナ	55.6	－	－	オロ	19.4	－	－
オプトラン	－	36	103,428	日鉄ソリューションズ	－	30	107,250	シェアリングテクノロジー	132	－	－
フリュー	－	99	97,119	セキュアヴェイル	98.9	－	－	U U U M	26	10	49,050
ヤマシンフィルタ	120	－	－	ソフトクリエイトHD	－	2.3	3,836	ウォンテッドリー	－	23	88,090
ホソカワミクロン	24	－	－	プリンクシステム	25.6	－	－	マネーフワード	23	－	－
ワイエイシールディングス	－	51.4	36,237	T I S	50	57.3	353,541	S K I Y A K I	－	98.2	74,042
T O W A	62.2	－	－	電算システム	－	22	65,142	すららネット	35	－	－
ローツェ	－	46.8	110,682	GMOペパボ	－	13.8	32,430	アズジェント	54	57.3	128,925
セガサミーホールディングス	120	－	－	ブレインパッド	80	57	373,350	野村総合研究所	40	－	－
放電精密加工研	46.6	－	－	ネクソン	－	55	74,250	サイバネットシステム	140.8	150	88,950
電気機器 (9.1%)				ソフトマックス	－	131.5	143,598	C E ホールディングス	－	97.9	113,564
日本電産	14	－	－	システム情報	－	122	148,474	日本システム技術	23.9	－	－
日新電機	－	82.7	99,653	エンカレッジ・テクノロジー	9	－	－	インフォコム	36.4	－	－
日東工業	－	9.2	19,172	フィックスターズ	225	195.6	306,309	ビープラッツ	21	－	－
MC J	140	－	－	オブティム	－	35	95,550	ラクスル	－	25.1	91,238
エスケールエレクトロニクス	24.2	－	－	S H I F T	78	77.9	413,649	メルカリ	27.5	－	－
電気興業	－	25.5	74,001	日本ファルコム	78.3	95	170,620	イーアイ	1	15.5	26,241
アンリツ	90	75	148,650	テクマトリックス	53	60	145,260	I P S	16	95.2	119,095
ソニー	27	17	101,405	GMOペイメントゲートウェイ	－	25	210,000	ロジザード	41	－	－
タムラ製作所	123.7	－	－	システムリサーチ	29	－	－	エクスマーシオン	0.6	72	155,304
s a n t e c	－	70.7	140,834	アドバンスト・メディア	37	－	－	チームスピリット	1	－	－
メイコー	44	96.9	154,458	ヴィンクス	－	82.1	99,833	イーソル	－	120.9	162,126
キーエンス	2	2	122,240	GMOクラウド	36	－	－	A M A Z I A	－	50	146,000
エヌエフ回路設計	92.6	－	－	U L S グループ	－	8.5	23,086	K u d a n	－	6.5	62,855
キョウデン	169.7	－	－	アドソル日進	73	57.6	121,017	シノプス	－	81.8	158,283
レーザーテック	23.4	－	－	フリービット	－	100	104,700	リックソフト	－	13	163,020
山一電機	－	28.7	32,976	コムチュア	36.9	50	211,250	スーパーワークス	－	12	155,880
太陽誘電	－	70	148,330	データ・アプリケーション	31.3	－	－	カオナビ	－	7.5	53,175
村田製作所	－	24	109,272	日本一ソフトウェア	－	34.7	50,315	W E L B Y	－	7.5	122,325
K O A	8.4	－	－	サイバーコム	50.2	27	47,790	ヴィッツ	－	31.9	185,339
輸送用機器 (－)				アステリア	－	8.6	5,538	トピラスシステムズ	－	20	145,200
デンソー	20	－	－	アイル	124	－	－	オービック	30	－	－
精密機器 (3.0%)				エムケイシステム	－	27.4	28,030	トレンドマイクロ	19	－	－
島津製作所	55	45	114,210	デジタル・インフォメーション	－	53	88,775	フューチャー	32.8	9	16,569

銘柄	期首			期末	評価額	銘柄	期首			期末	評価額	銘柄	期首			期末	評価額
	株数	株数	株数				株数	株数	株数				株数	株数			
伊藤忠テクノソリューションズ	70	—	—	千株	千円	東陽テクニカ	—	12.9	13,919	千株	千円	イトクロ	13	—	—	千株	千円
アイティフォー	170	—	—	株	円	S O U	28	26.3	97,441	株	円	イー・ガーディアン	35.5	—	—	株	円
インフォメーションクリエ	26.2	68	45,492	株	円	小売業（－）	—	—	—	株	円	ジャパンマテリアル	—	70	80,780	株	円
日本コンピュータ・ダイナ	61.3	—	—	株	円	Z O Z O	45	—	—	株	円	I B J	—	150.3	173,596	株	円
電通国際情報 S	45.8	—	—	株	円	銀行業（－）	—	—	—	株	円	シグマクシス	107.3	70	98,700	株	円
スカラ	122	—	—	株	円	三井住友フィナンシャルG	50	—	—	株	円	フリークアウトHLDGS	45.5	—	—	株	円
ネットワンシステムズ	130	—	—	株	円	証券、商品先物取引業（－）	—	—	—	株	円	メドピア	85	—	—	株	円
日本ユニシス	—	64.7	220,627	株	円	GMOフィナンシャルHLDGS	106.5	—	—	株	円	ロゼッタ	—	34	123,760	株	円
ビジョン	45	48	232,080	株	円	SBIホールディングス	60	—	—	株	円	インソース	120	93.1	280,231	株	円
K D D I	100	—	—	株	円	マネックスG	160	—	—	株	円	ペイカレントコンサルティング	65	19	94,240	株	円
光通信	12	10	252,100	株	円	その他金融業（1.2%）	—	—	—	株	円	ソウルデータアウト	54	—	—	株	円
エムティーアイ	—	69.9	51,376	株	円	日本モーゲージサービス	174	142.7	154,686	株	円	エスユーエス	100	—	—	株	円
ファイバーゲート	—	100	332,500	株	円	不動産業（－）	—	—	—	株	円	エル・ティー・エス	34.5	—	—	株	円
アルファポリス	—	51.9	106,550	株	円	デュアルタップ	100	—	—	株	円	みらいワークス	22.2	—	—	株	円
K A D O K A W A	—	22.7	34,958	株	円	ロードスターキャピタル	108.7	—	—	株	円	日総工業	66	—	—	株	円
ピー・シー・エー	0.7	—	—	株	円	パーク24	50	—	—	株	円	R P Aホールディングス	—	50	82,900	株	円
スクウェア・エニックス・HD	—	65	277,550	株	円	サービス業（15.8%）	—	—	—	株	円	AND FACTORY	—	64.8	149,040	株	円
シーイーシー	144	80	191,120	株	円	アイティメディア	—	145	111,505	株	円	イーエムネットジャパン	—	18.2	125,580	株	円
アイ・エス・ピー	56	—	—	株	円	トラスト・テック	30.7	—	—	株	円	ブリッジインターナショナル	—	66	77,880	株	円
S C S K	—	10	51,400	株	円	エス・エム・エス	—	50	123,900	株	円	テクノステータサイエンス	—	26.2	88,294	株	円
日本システムウエア	—	46	113,850	株	円	ソーバル	73.5	—	—	株	円	ギークス	—	52	191,620	株	円
富士ソフト	43.5	—	—	株	円	オプトホールディング	64	—	—	株	円	合 計	株数、金額	7,333.6	5,515.4	12,611,982	株数、金額
ミロク情報サービス	—	35	98,280	株	円	ジャパンベストレスキュー	182	60	71,280	株	円	銘柄数<比率>	121銘柄	103銘柄	<96.2%>		
卸売業（2.5%）	—	—	—	株	円	オールアバウト	16.1	—	—	株	円						
イメージワン	—	151.4	90,083	株	円	W D Bホールディングス	37	—	—	株	円						
エフティグループ	27.7	—	—	株	円	アドウェイズ	148.7	—	—	株	円						
ダイワボウHD	28.9	25	111,500	株	円	パリュエコマース	76.5	70	121,450	株	円						
テリロジー	230	—	—	株	円	アドベンチャー	16.6	—	—	株	円						
内外テック	9.2	—	—	株	円	M R T	22.9	—	—	株	円						

(注1) 銘柄欄の()内は国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注2) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年8月20日現在

項目	当 期 末	
	評価額	比率
株式	千円 12,611,982	% 94.4
コール・ローン等、その他	751,361	5.6
投資信託財産総額	13,363,344	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年8月20日現在

項目	当 期 末
(A) 資産	13,363,344,409円
コール・ローン等	499,251,512
株式(評価額)	12,611,982,700
未収入金	242,688,297
未収配当金	9,421,900
(B) 負債	251,725,764
未払金	125,106,742
未払解約金	10,182,858
未払信託報酬	116,054,492
その他未払費用	381,672
(C) 純資産総額(A－B)	13,111,618,645
元本	23,355,950,796
次期繰越損益金	△10,244,332,151
(D) 受益権総口数	23,355,950,796口
1万口当り基準価額(C／D)	5,614円

* 期首における元本額は25,684,575,600円、当作成期間中における追加設定元本額は320,473,864円、同解約元本額は2,649,098,668円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は5,614円です。
* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は10,244,332,151円です。

■損益の状況

当期 自2018年8月21日 至2019年8月20日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	123,889,252円
受取配当金	124,179,813
受取利息	60
その他収益金	6,084
支払利息	△ 296,705
(B) 有価証券売買損益	△ 1,897,560,645
売買益	2,579,298,794
売買損	△ 4,476,859,439
(C) 信託報酬等	△ 247,303,907
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 2,020,975,300
(E) 前期繰越損益金	△ 5,112,602,139
(F) 追加信託差損益金	△ 3,110,754,712
(配当等相当額)	(38,867,846)
(売買損益相当額)	(△ 3,149,622,558)
(G) 合計(D + E + F)	△10,244,332,151
次期繰越損益金(G)	△10,244,332,151
追加信託差損益金	△ 3,110,754,712
(配当等相当額)	(38,867,846)
(売買損益相当額)	(△ 3,149,622,558)
分配準備積立金	834,997,653
繰越損益金	△ 7,968,575,092

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	38,867,846
(d) 分配準備積立金	834,997,653
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	873,865,499
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	873,865,499
(h) 受益権総口数	23,355,950,796口

《お知らせ》

■信託期間の延長について

信託期間を5年間延長し、信託期間終了日を2019年8月20日から2024年8月20日に変更しました。